



城南坂

校長だより No.9
R7. 5. 16(金)
校長：佐々木雄治

学校教育目標 「志と誇りを持ち 主体的に行動する生徒の育成」

予習のすすめ

間もなく5月も下旬に差し掛かります。1ヵ月前は桜が咲き誇り、美しいピンクだった城南坂も、今は新緑に染まり、毎朝、坂の上で行っているあいさつの際に、鳥たちのさえずりが聞えてきて、まるで私達のあいさつに応えているかのようです。

さて、今週は城南中生の普段の頑張りを見たいなと思い、時間を見つけて授業の様子を参観してみました。黙々と問題に取り組む生徒、熱心に発言したり先生の問いかけに積極的に反応したりする生徒、クラスメイトと協力して話し合ったり教え合ったりしている生徒と、たくさんのクラスで頑張っている城南中生の姿が見られました。一方で、なかなか課題に取りかかれない生徒や課題が難しいと簡単に諦めモードになってしまう生徒も見られました。先生方は、日々の授業を生徒たちが主体的に取り組んだり、互いに協働して活動したりできるように工夫しながら授業の準備に日夜励んでいるところです。そこに参加する生徒のみなさんも、ぜひ1時間1時間の授業を大切に、意欲的に授業に臨んでほしいと思います。

私のおすすめの授業の受け方は、その授業の前日に「**予習をしてから授業に臨む**」ことです。授業の前に、あらかじめ学習内容について自分で確認することにより、次の効果が期待できます。

- ・ 予習の段階で、明日習う予定の学習内容に関連した既習事項のうち十分理解できていない内容が確認できるため、その部分を復習してから授業に臨むことができる。
- ・ 前の日に一度学習した内容を授業ですぐにもう一度学習できるため、学習内容の定着度がとても高まる。
- ・ 予習の段階でどうしても分からなかった内容については、授業の中ですぐに質問して解決することで、精神的にスッキリできる。
- ・ あらかじめ自分の考えが整理されているため、話し合いの時に友達の考えと自分の考えを比較しやすくなる。

このような学習方法を「**反転学習**」といいます。これまでのスタンダードな授業の受け方は授業でインプットした学習内容を家に帰って復習して定着を図るというスタイルですが、**反転学習は、家で学習内容をインプットして授業でアウトプットすることで定着を図るというスタイルになります。**反転学習を意識し主体的に学習を進める習慣を身に付け、中学校卒業後の進路選択に向けて日々の授業で力を付けていくようにすると、受験期にぐっと成績を伸ばすことができるようになります。反転学習を行うにあたっては、帰りの会の**教科連絡の際に、授業に使う持ち物は何かということに加えて、明日の学習内容は何かということをしっかり把握**することが大切になります。教科連絡をする係のみなさんは先生方に授業に必要な持ち物の他に、次の学習内容についても確認して、クラスみんなに知らせるようにしてください。



来週は生徒会活動として「城南upキャンペーン 学習委員会 学力向上キャンペーン」が行われます。授業開始2分前の自学実施率の向上を図る取組ですが、この2分前自学の時間に、前の日に予習した学習内容を簡単に振り返っておくと、より授業が分かりやすく感じるのではないかと思います。やらされる取組ではなく自ら主体的に取り組む姿勢を身に付ける機会にもなると思いますので、こうしたキャンペーンを自分の成長のためにぜひ活用してみてください。

来週月曜日には学校運営協議会委員のみなさんに、その翌週には中央教育事務所の所長さんをはじめとする方々に、城南中生の頑張りを、授業参観を通してご覧いただくことになっています。授業の中でも「愛される城南中生」の姿を存分に発揮できるようがんばってください。期待しています。



※イラストはどちらも「いらすとや」より